

組 野 林 東北地方本部青年女性委員会 みちのちのく

新採労働学校

2024年11月22日から「2024年度 新採労働学校」が開催されました。東北地本から3名の組合員が参加し、全国の仲間たちと直接顔を合わせ、交流を行いました。

最初の講義では、労働政策研究・研修機構 特任研究員 呉学殊(オウ・ハクスウ)氏を講師に招き、「労働組合の存在意義と課題について」と題し、講義をしていただきました。

「雇用関係では上下関係が発生するが、労使関係では対等な立場であり、それを実現させるのは労働組合である」「日本の組合は組織率が低く形骸化してしまっている」「労使のコミュニケーションにより職員のやる気が上がり、離職率は下がり、結果として業績は向上する」という講義内容でした。

また、講義の中で韓国の労働組合のお話もありましたが、新規採用の人数や配置・新たな機械を導入等する際には労働組合の承認を得なければいけないと、

組合の力が非常に強いそうでした。

講義員では、林野組中央本部 鳴川書記長より「国有林野事業の歴史ととりまく状況について」と題して、労働組合の結成の経緯や役割・必要性及び現在の課題等について講義いただきました。講義員では森林労連共済推進本部より石原氏を招き、共済の成り立ち、若い職員の保険加入(独身者は必要最低限の保障で問題ない)、近年新設された個人賠償責任共済の加入の必要性について解説いただきました。

講義員では中央労働金庫霞ヶ関支店の中山氏を招き、ろうきんの成り立ちやカードローンの仕組み、今まで経験したマネートラブル等の紹介をしていただきました。昔からあるワンクリック詐欺・マルチ商法のほか、中央ろうきんホームページに掲載されている動画を用いて妻の制止を聞かずに買い物をした夫の末路や、ある程度老後のために貯金をしていたがこのままでは資金が足りないためNISAやiDeCoを活用し資産運用をする動画を視聴しました。筆者も最近資産運用に手を付

け始めましたが、もっと早く始めておけば今頃心理的な余裕がもっとある生活が送れていたのでは・・・と後悔しています。ただ！資産運用は得する場合も多々ありますが、損をする場合も多々ありますのでじっくり考えてから行う必要があります。

参加者の感想

今回の参加者に対し、アンケートを実施しました。そのアンケートの中から抜粋して、感想や職場で感じていることなどを紹介させていただきます。

●全体の感想
「全国の同期との交流や悩みの相談が出来てよかった」
「組合について学びながらも全国の同期や関係している方々と交流することが出来とても良い3日間となった」と交流について触れた方が多かったです。新採労働後は全国の同期と顔を合わせれる機会はなくなりそうですので、とても良い機会になったかと思えます。

●講義について
「労働組合の歴史やこれまでの実績を知ることが出来勉強になった」「今まで曖昧にしか理解していなかった組合の主な活動やこれまでの実績などを丁寧に説明してもらえたのでより理解を深められた」

「議員の先生から直接講義を賜り貴重な時間を過ごせた」といった、前向きな感想や講義を通して組合活動とはどんなものか実感した感想もあり、非常に有意義な機会になったようです。

今回は特にトラブルもなく、皆さんの協力により無事新採労働学校を終えることが出来ました。今回は特にトラブルもなく、皆さんの協力により無事新採労働学校を終えることが出来ました。組合活動は一人ではなく皆で取り組むものです。新たな仲間と共に協力し、活動を展開していきましよう。

